

大阪市におけるエイズ対策（沿革）

年度	西 暦	検査、相談、普及啓発関係等	備 考
昭和57年度	1982		・ エイズ(AIDS)と命名
昭和60年度	1985		・ エイズの原因ウイルス発見(HIVと命名) ・ 日本で最初のエイズ患者認定
昭和61年度	1986	・ 24区各保健所でのHIV抗体検査・相談開始	・ エイズパニック(長野松本報道)
昭和62年度	1987		・ エイズパニック(神戸・高知報道)
昭和63年度	1988	・ 24区各保健所におけるHIV抗体検査匿名受付開始	・ 第1回世界エイズデー
平成元年度	1989		・ エイズ予防法施行
平成2年度	1990	・ エイズ予防週間事業(大阪府・他都市との共同事業)開始	
平成3年度	1991	・ 大阪府下の感染者・患者数の発表開始	
平成5年度	1993	・ 24区各保健所におけるHIV抗体検査無料・匿名受付開始 ・ 一般向け啓発冊子「エイズのはなし」発刊開始(平成26年度から「エイズ情報NOW」へ変更。大阪府・他都市との共同事業) ・ 新聞折り込み開始(～平成20年度) ・ 民間医療機関従事者への教育研修開始 ・ 個別施策層への予防啓発事業開始 ・ エイズ予防啓発ラジオ放送等事業開始	
平成6年度	1994	・ HIV夜間検査受検促進キャンペーン開始(～平成19年度) ・ HIV夜間検査受検促進キャンペーン用ポスター開始(～平成19年度) ・ テレホンサービス開始(～平成17年度) ・ 地域におけるエイズ普及啓発活動開始(～平成18年度) ・ トリオホンを活用した外国人への相談対応開始 ※1 ・ 神戸市、京都市との3市共同エイズ予防啓発事業開始(京都市:～平成15年度、神戸市:～平成17年度)	・ 第10回国際エイズ会議開催(横浜)
平成7年度	1995	・ 青少年向けエイズ情報誌「アジェンダ」発刊開始(～24年度)	
平成8年度	1996	・ 木曜日夜間常設HIV抗体検査開始(場所:西区。大阪府との共同事業) ・ エイズ専門相談事業開始 ※2 ・ 外国語によるエイズ電話相談事業開始	
平成11年度	1999		・ 感染症法施行・エイズ予防法の廃止 ・ 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の策定
平成13年度	2001	・ 24区各保健センターでのHIV抗体検査に性感染症検査(梅毒・クラミジア)を追加 ・ 思春期24時間電話情報提供(青春ほっとダイヤル)開始(～24年度)	
平成14年度	2002	・ 土曜日昼間常設HIV抗体検査開始(場所:北区。大阪府との共同事業)	
平成15年度	2003	・ 青少年に対する予防啓発事業「ヤング・シェアリング・プログラム」開始(～平成17年度)	
平成16年度	2004	・ 木曜日夜間常設及び土曜日昼間常設HIV抗体検査に性感染症(梅毒・クラミジア)を追加	
平成17年度	2005		・ 第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議(神戸)
平成18年度	2006	・ 日曜日昼間常設即日HIV抗体検査開始(場所:中央区。大阪府との共同事業)	・ 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改定 ・ HIV検査普及週間開始
平成19年度	2007	・ 大阪市エイズ対策基本指針(平成19年6月～24年3月)の策定	

年度	西 暦	検査、相談、普及啓発関係等	備 考
平成20年度	2008	<ul style="list-style-type: none"> 24区保健福祉センターでのHIV抗体等検査体制を北区・中央区・浪速区・淀川区の4区保健福祉センターに集約 日曜日昼間常設即日及び土曜日昼間常設HIV抗体等検査の場所を浪速区のchot CASTなんばに移転。また土曜日の性感染症検査の項目をクラミジアからB型肝炎に変更 金曜日夜間常設HIV等検査開始(場所:chotCASTなんば。市単独。なお大阪府は火曜日を単独実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道洞爺湖サミット開催(国際保健に関する洞爺湖行動指針提言)
平成21年度	2009	<ul style="list-style-type: none"> 火曜日・金曜日夜間常設、HIV・梅毒・B型肝炎検査開始(場所:chotCASTなんば。大阪府との共同事業) 4区保健福祉センターでのHIV抗体等検査体制を北区・中央区・淀川区の3区保健福祉センターに集約 土曜日昼間常設HIV抗体等検査事業休止(10月～) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ流行
平成22年度	2010	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日昼間常設HIV抗体等検査事業再開(7月～) chotCASTなんばHIV抗体等検査事業休止(3月～) 	
平成23年度	2011	<ul style="list-style-type: none"> chotCASTなんばHIV抗体等検査事業再開(5月～)また、金曜日夜間常設HIV等検査を木曜日に変更 HIV陽性者支援用パンフレット「たんぼぼ」発刊開始(大阪府・他都市との共同事業) 第2次大阪市エイズ対策基本指針(平成24年4月～29年3月)の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改定
平成24年度	2012	<ul style="list-style-type: none"> エイズ啓発講座の講師派遣事業を開始(10月～)(～令和元年12月まで) ※3 MSMの中高年向け季刊誌「南界堂通信」発刊開始 中学生・高校生向け啓発冊子「エイズのはなし」発刊開始 青少年向けHIV普及啓発ポスター作成(～27年度) 	
平成25年度	2013	<ul style="list-style-type: none"> 3区保健福祉センターでのHIV抗体検査をHIV抗原抗体検査へ変更 土曜日昼間常設HIV抗体等検査事業を即日検査へ変更 土曜日昼間常設即日及び日曜日昼間常設即日HIV抗体等検査事業の定員を拡大(12月～) 	<ul style="list-style-type: none"> 献血による輸血用血液のHIV感染事例が大きく報道される
平成26年度	2014	<ul style="list-style-type: none"> 北区水曜のHIV等検査事業を午前から午後へ変更 コミュニティセンターを活用したMSM対象のHIV等検査の試行実施開始 	
平成27年度	2015	<ul style="list-style-type: none"> 3区保健福祉センターでのクラミジア検査を病原体検査(尿検査)へ変更 	
平成28年度	2016	<ul style="list-style-type: none"> 中央区保健福祉センターでのHIV抗体等検査事業に即日検査を導入 日曜日昼間常設即日HIV抗体等検査事業に携帯端末からの予約制を導入 	
平成29年度	2017	<ul style="list-style-type: none"> chotCASTなんばの土日検査項目に梅毒が追加 3月にchotCASTなんばからchotCASTへ名称変更し、なんばから心斎橋に移転 第3次大阪市エイズ対策基本指針(平成29年10月～34年3月)の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正
平成30年度	2018	<ul style="list-style-type: none"> 北区の検査日程を変更。北区が第5金曜日に夜間検査を開始 Twitterアカウント「大阪市保健所HIV・性感染症ナビ」より情報発信を開始 中学生・高校生向け啓発冊子「エイズのはなし」の指導の手引きの作成、教育委員会への提供開始 コミュニティセンターを活用したMSM対象のHIV等検査の直営検査開始 	<ul style="list-style-type: none"> 発生届に診断時のCD4陽性Tリンパ球(CD4値)の記載が追加
令和元年度	2019	<ul style="list-style-type: none"> chotCASTのJHCが解散し日曜日の検査もスマートらいふクリニックが実施 	
令和2年度	2020	<ul style="list-style-type: none"> 告知時の通訳業務依頼を開始 chotCASTが木曜日の即日検査を導入 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症流行

・機構改革により、平成12年度から1保健所24区保健センターに、平成15年度から1保健所24区保健福祉センターとなる

※1 トリオホンを活用した外国人への相談対応:外国語の通訳を間に入れた3者による電話の相談対応

※2 エイズ専門相談事業:エイズに関する知識と経験を持ったカウンセラーによる専門相談

※3 エイズ啓発講座の講師派遣事業:各区保健福祉センターからの要請により、エイズに関する正しい知識等の講座開催にかかる講演資料の提供、技術的支援、講師派遣を行う。令和元年12月にJHCが解散し、以降講師派遣は中止。ただし、講演資料の提供や技術支援は継続